

2025年度 NPO法人清水サッカー協会 重点施策

少子高齢化現象によるサッカー人口の減少というトレンドは、今後も数十年に渡りゆっくりと進むと予測されている。また、このところエスパルスを除き、全国的なタイトルに関わるチームが出ていない。「サッカーのまち」清水の火を消さないために、サッカー人口減少への対策と、チーム・選手の強化は不可欠である。そのため、2024年度に掲げた「普及活動」、「競技力向上」、「環境整備」の大項目について、本年度も引き続きの重点課題とし取り組むべきと考える。一方、中長期的な視野で課題のあぶり出しを行いつつ、協会のあるべき将来像を模索する。以下、本年度の重点施策を提案する。

1. 普及活動の充実を図る。

- ・「草サッカー大会」等既存の大会は、競技者らにより愛されるようなブラッシュアップを図る。
- ・各種別の会員減少の原因にフォーカスし有効な歯止め対策を実施する。
- ・会員の利便性向上と協会内外への情報伝達機会の増加を目的として、ホームページのリニューアルを実施、SNS・会報等を使った広報活動の強化を行う。
- ・個別の普及課題として、「3種・中学部活動廃止問題」の対策を実施、「4種・女子サッカーの登録減少対策」、「低学年・未就学児童のサッカーへの接触機会」等、活動を強化する。

2. 競技力の向上を図る。

- ・清水エスパルス指導陣と連携し、具体的な手法を策定し指導者の養成を図る。
- ・静岡市のトップ選手育成のため市協会主体にセントラルトレセンを支援するとともに、協会内のトレセンの在り方に関して議論を行い、改善策を模索する。
- ・強化の目的を持つチームに対してヒアリングを行い、課題の解決に向けて協会として具体的な支援に取り組む。特に、レベルの高い女子チームの育成・支援、あるいは新結成は静岡県中部地区を通じての問題で、強化を図れるよう具体策を模索する。

3. 競技をとりまく環境を整える。

- ・事業や活動の見直しを行うとともに、今後の協会組織の在るべき姿を検討する。
- ・静岡市全体の取り組みを進めるため、静岡協会との連携をさらに強化する。
- ・中学部活廃止問題に対応するため、地域クラブ活動検討委員会で具体的な対応策を検討し、必要な施策を実行に移す。
- ・清水ナショナルトレーニングセンターについて、施設が設置された当初の理念に立ち戻り、有機的な活用を増進させるため、静岡市に対して具体的な提案を行う。
- ・JR清水駅東口周辺で議論されている新スタジアムについて、「サッカーのまち」として地域活性化に繋がる重要なアクションととらえ、その建設を引き続き静岡市に強く要望する。
- ・競技者の安全を確保するため、ゴールやテント等の固定確認、WBGT値上昇に適應する対策、落雷事故防止など、防災手法を意識した安全対策で運営を行う。
- ・子供・女性・シニア・障がい者等、サッカーのカテゴリーごとの活動自体がSDGsであることを会員に啓蒙し各委員会で巡回説明するなど、PR活動を行う。
- ・安定した大会の運営や競技参加への機会拡大を狙い、審判員の資質向上と人員拡大を図る。特に上級審判員の強化と発掘、ユース世代での資格取得者の増員に注力する。
- ・イベントや大会での個人情報について、漏洩などがないよう厳格に取り扱う。